

平成30年度事業計画

1 教育支援事業（母校、地域、在学生への支援）

- (1) 寄付講座（経済学部特殊講義Ⅰ）の開講（平成30年10月～平成31年1月の毎週金曜日）
講師4名（各3回担当）、聴講生毎回10名。これまでの講義形式を見直し、ゼミ形式で再開する。
- (2) 経済学部との連携による学生の就職活動に対する支援の推進
就職アドバイザー（鳳陽会会員）による個別相談、企業人事担当者及び就職アドバイザーによる模擬面接の実施等
- (3) 経済学部職業会計人コースに対する支援及び助成
全国大学対抗簿記大会及び海外研修費用の助成、公認会計士試験、税理士試験合格者の表彰
- (4) 経済学部における国際交流及びグローバル人材育成に対する支援及び助成
外人講師による英会話集中講義への助成
- (5) 卒業生、在学生の各学年、各学科の成績優秀者及びTOEIC成績優秀者の表彰
- (6) 教育、ゼミ活動、研究充実のための支援、助成及び講演会等の後援
- (7) 学生ゼミナール連合協議会主催の「卒業祝賀会」への助成
- (8) 山口大学後援財団の日中学術交流事業への支援

2 交流事業

- (1) 山口大学同窓会活動（ホームカミングデー等）への積極的参加
- (2) 山口大学他学部同窓会及び他大学同窓会との交流の促進
- (3) 卒業生（新会員）へ鳳陽会紹介冊子「花なき山の・・・」、記念品配付、贈呈
- (4) 新入学生の「保護者懇談会」等で「鳳陽会」を紹介し、同窓会活動に対する理解を促進
- (5) 山口支部総会への学生招待等、学生（留学生を含む。）と各支部との交流への積極的支援
- (6) 寮歌祭参加支部への支援（中央寮歌祭）
- (7) 本部ホームページの改善・充実、支部ホームページの開設
- (8) 本部情報システムの改善（名簿管理システムの改善、パソコン機器の更新）

3 同窓会関係事業

- (1) 各支部に対し「支部支援費」を配分して、支部活動を支援
- (2) 具体策の取組に当たり、本部と支部が一体となった体制を整えるため、全国支部長会議を開催
- (3) 鳳陽会の厳しい財政状況の改善の一方策として、会員の誰からも寄付金を受け入れることができる「寄付制度の創設」について、検討を進める。
- (4) 新卒業生及び既卒業生の動静把握、会員名簿の整理・充実に努め、会員動静を一層把握
- (5) 支部に対する積極的支援により、支部組織の強化・再編に取り組む。
- (6) 各支部総会等において、山口大学、経済学部の資料及び山口地域の情報を提供する。
- (7) 会員の動静管理、鳳陽会関係資料の一層の充実、会員データの迅速な検索、抽出及び提供
- (8) 山口で開催される同期会等を積極的に支援
- (9) 通常総会を全国の主要都市持ち回りで開催し、同窓生の交流に資する。
平成30年度：第88回通常(全国)総会、6月16日（土）、山口グランドホテルで開催

4 会報発行事業

- (1) 会員及び学生からも親しまれる、読みやすい同窓会誌「鳳陽」を目指して、年3回編集、発行
 - ① 第163号(5月発行)は、従来どおり海外会員を含む全会員に送付
 - ② 第164号(9月発行)・第165号(1月発行)は、当会の財政状況を踏まえ、正会員(年会費納入会員及び賛助会費納入会員)のみに送付
 - ③ 経済学部の教官(現・旧)や在学生、大学本部、他学部同窓会、他大学同窓会等に配付・送付
- (2) 110周年記念号の発行
164号(9月発行)を充実する形で、機関誌「鳳陽」の110周年記念号を発行

5 本年度の重点施策(再掲)

鳳陽会110周年を期し、鳳陽会の同窓会活動の活性化を図り、次の世代に同窓会活動を繋いでいくために、アンケート結果に基づく具体策として、次の3項目を柱として展開する。

- (1) 組織運営体制の強化
同窓会活動の基本である会員の動静把握に努めるとともに、支部組織の強化・再編に取り組み、鳳陽会の組織運営体制の強化を図る。
- (2) 110周年の節目に
支部活動の支援、寄付制度の創設、機関誌「鳳陽」の110周年記念号の発行、定期発行分の内容の充実を始めとする具体策についての検討・取組を進め、鳳陽会の同窓会活動の活性化を図る。
- (3) 全国支部長会議の開催
具体策への取組に当たり、全国40支部に周知徹底し、本部と支部が一体となって取り組む体制を整えるため、「全国支部長会議」を開催する。